

SSHだよい



平成28年 第7号

東京都立日比谷高等学校 SSHスーパーサイエンスハイスクール

◎SSH情報 『産学連携講座』 ‹セコム株式会社 講演会›

文部科学省は、平成29年度スーパーサイエンスハイスクール(SSH)支援事業を実施するにあたり、「将来にわたり、日本が科学技術分野で世界を牽引するためには、イノベーションの創出を担う、科学技術関係人材の育成が不可欠」と提唱しています。高等学校時代に、科学技術分野の進展における企業の果たす役割について幅広く学んでおくことは大切なことです。2月10日(金)、講師として、セコム株式会社 I S 研究所 コミュニケーションプラットフォームディビジョン スマートコンピューティンググループ 研究員 坂本 一仁 様はじめ、関係の皆様方に来校して頂き、SSH情報『産学連携講座』を開催しました。はじめに「安全・安心」で「快適・便利」な『社会システム産業』の構築をめざす企業理念の話をしていただきました。重要な社会課題として「セキュリティ」「超高齢社会」「災害・BCP・環境」の三つを掲げ、ミッションとして「あらゆる不安のない社会の実現」を目指し、新しい技術開発をもって、セキュリティ、防災、メディカル、保険、地理情報サービス、情報通信、不動産、国際、その他多岐に渡る事業展開を目指している話を伺いました。そして、講演では御専門の研究テーマである Web の安全をテーマにプライバシー保護・認証技術・サイバーセキュリティの技術開発等、参加生徒と対話しながら講義をしていただきました。



◎SSH天文部『天体観測合宿』

SSHの取組みにおいて、文部科学省は理科系の部活動の活性化を推奨しています。本校の理科系の部活動は、日頃から観測や研究活動にして取り組んでいます。天文部による天体観測は主に夜間の活動となるため、通常の校内活動では本格的に実施することが困難です。天文部が行う合宿は、日頃、都心では見ることのできない星空を観測することのできる年1回のイベントです。今回の合宿は、昨年に引き続き山梨県清里のペンションで1月4日～6日(2泊3日)の期間で実施しました。ペンション付属の天体ドームで観測を終えたのち、自分たちで用意した望遠鏡やデジタルカメラでグループごとに観測を行いました。(下記は生徒による撮影写真)



M45 プレアデス星団(おうし座)

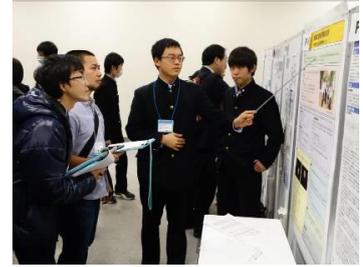
バラ星雲(いっかくじゅう座)

M42 オリオン大星雲

◎『中高生のための学会～サイエンスキャッスル 2016 関東大会』参加

SSHの取組みにおいて、文部科学省は生徒の研究成果を国内外の学会等で発表することを推奨しています。

1月24日(土)、TEPIA 先端技術館にて、教育支援企業リバネス(株)が主催する「中高生のための学会～サイエンスキャッスル 2016」関東大会に天文部が参加し、「太陽の自転周期の測定」の内容でポスター発表を行いました。天文部としては、前日の東京都SSH校合同発表会の翌日というハードスケジュールでしたが、2年間の研究の成果を発表することができました。



◎第9回日本地学オリンピック《銅賞受賞》

SSHの取組みにおいて、文部科学省は科学オリンピックへの参加を推奨しています。

3月12日から14日まで茨城県つくば市で開催された地学オリンピック日本委員会主催の日本地学オリンピック本選において、本校2年生が銅賞を受賞しました。

◎平成28年度『日比谷高校SSH成果報告会』

1月21日(土)、今年の日比谷高校SSH成果報告会を実施しました。午前中は、本校理科教室等におけるポスター展示、午後は星陵会館における口頭発表です。受付、司会、準備等すべてSSH委員会の生徒達によって運営されました。当日は、本校のSSH運営指導員の先生方をはじめ、東京都教育委員会、全国他県からの先生方、保護者、東京都民、中学生等大勢の方に参加していただきました。口頭発表では、生徒の課題研究の発表、海外研修参加生徒による発表、学校側からのSSH事業報告に加え、卒業生の報告として、在学時に日比谷高校のSSHに積極的に参加した東京大学大学院薬学系研究科博士課程1年生(第1回SSH海外派遣研修体験)、東京大学理学部地球惑星物理学科4年生(大学院進学予定、SSH東京大学生産技術研究所通所体験)の2人によるプレゼンテーションも行われました。高校時代のSSHに参加したことが現在の自分の研究につながっていることや大学時代に積極的に海外の大学を訪問していることなど、在校生にとって大変有意義な話を聞ける機会となりました。



◎平成28年度『日比谷高校SSH表彰式』

日比谷高校では、「スコア制度」として、生徒の皆さんのSSHに取り組んでいる状況をすべて記録しており、積極的に取り組んできた生徒を毎年、卒業式の前日に表彰しています。**この制度は、文部科学省からもSSH校の在り方の一つとして高く評価されています。**今年の3年生も41名が武内校長先生より表彰され、部活動や学校行事に加え、SSHの取組みにも熱心に参加する生徒が毎年、増加していることがわかります。また、卒業後も縦のつながりを大事にして在校生を支援していくSSHの同窓会「すばる会」代表の卒業生も参加して祝いました。卒業後も、是非、自然科学や科学技術に対して、常に興味・関心を持ち続けて将来に向かっていってほしいと願っています。

